

沖縄県知事選挙、沖縄県民投票に学ぶ



琉球新報東京報道部長の滝本匠さん

6月13日の夜、九条かながわの会が「6月9条学校」沖縄県知事選挙、沖縄県民投票に学ぶ」をかながわ県民センター2階ホールで開催し、県内各地から130名の参加者が集まりました。



沖縄では、県知事選、県民投票、衆院補選で勝利！

神奈川でも、参院選で立憲野党2議席を！

開会のあいさつ

はじめに、後藤仁敏事務局長が「神奈川県知事選挙の真っ最中に見た『デニーが勝った』に感動した。昨年8月に亡くなった翁長雄志前知事の遺志は、玉城デニーさんにしっかり受け継がれ、勝利した。つづく、県民投票も衆院選補選も勝利している。沖縄県民のたたかいに学び、神奈川でも勝利したい」と挨拶しました。

DVD 『デニーが勝った』の上映

まず、DVD「デニーが勝った」(藤本幸久・影山あさ子共同監督、森の映画社)が上映さ

れました。

昨年6月の慰霊の日の翁長前

知事の平和宣言、翁長さんの告别式、県民大会での次男・翁長雄治さんの父への思い、副知事による埋め立て承認の撤回、デニー候補の辺野古での第一声、佐喜真候補との選挙戦が描写されていきました。そのなかで、沖縄県民により戦争体験、戦後の米軍支配下での苦しみ、復帰後も基地押し付けなどの差別が語られます。大集会での翁長樹子さんの演説が県民を奮い立たせました。相手候補の応援したのは神奈川県選出の菅官房長官と小泉衆議院議員でした。勝利の瞬間、そして初登壇まで記録さ

れていました。終了後、大きな拍手がおくられました。

滝本匠さんの講演

次いで、琉球新報東京報道部長の滝本匠さんが「沖縄県知事

九条かながわ

No.18

発行：九条かながわの会

2019年6月18日

編集 後藤仁敏 制作 岡 英男

横浜市神奈川区ニッ谷町2-9 ニッ谷コア202

電話 090-7175-1911 fax 045-894-1052

http://9kanagawa.la.coccan.jp/

e-mail article9@nifty.com

選挙、沖縄県民投票が問いかけるもの」と題して、次のような講演をされました。「今年の3月まで沖縄県庁記者クラブに属していた。4月から東京に来て、横田基地付近でも米軍ヘリの落下物があることを知ったが、記事の小ささに驚いた。沖縄では、6月6日の『琉球新報』で『米軍部品落下認める』の記事が一面トップで報道されている。

沖縄県知事選挙、それに続く県民投票で問われたのは自己決定権であり、この国の民主主義であった。これまでとの違いは、若者がSNSなどを使って頑張ったことだ。

その結果、県知事選では玉城と佐喜真の差が8万票だったのが、県民投票では反対と賛成の差が32万票となった。県民の7割が辺野古新基地建设に反対の意思を表明したのだ。差別の構造化に対する怒りだ。

私たちは、権力が仕掛ける沖縄フェイクを見破り、新聞の使命として、しっかりファクトチェックを行っている。

しかし、政府は聞く耳を持たず、辺野古の埋め立てを強行し、県民が諦めるのを狙っている。

沖縄県民の意思は表明されている。参議院選挙の公約で自民党は辺野古移設を掲げている。今度は、日本が問われている」。

岸牧子さんの報告と訴え 県知事選挙を 参院選に生かしたい



岸牧子さん（横須賀市民九条の会）

続いて、岸牧子さん（横須賀市民九条の会共同代表）が「神奈川県知事選挙をたたかって」について報告しました。

岸さんは、「皆様のご支援に感謝します。選挙で、9条を守ることを訴えました。市民と野党の共同をめざす選挙でした。70万91票は、共同と政策の力です。『オールかながわ』をつくるプロセスにしてほしいと思います。このたたかいを参議院選挙に活かしましょう」と呼びかけました。

岡田事務局代表の問題提起 『オールかながわ』を めざして



岡田尚事務局代表

岡田尚事務局代表は、「今国会での改憲発議は阻止できた。引き続き、県内の護憲団体の共同・共同をめぐらし、護憲『オールかながわ』をめざしたい。7月の参院選を改憲阻止のために頑張ろう。定数4の神奈川選挙区で立憲野党2議席を獲得しよう」と訴えました。

神奈川合唱団有志の 歌と演奏 私たちは勝つ！



神奈川合唱団有志の皆さん
上の看板は、馬場英明さん制作

最後に、神奈川合唱団の高橋由美さんらの演奏で、「We shall overcome」を参加者全員で歌い、勝つことを誓いあって、閉会となりました。